

公開実用 昭和60— 180408

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U) 昭60-180408

⑬ Int.Cl.⁴

A 61 B 7/00

識別記号

庁内整理番号

7033-4C

⑭ 公開 昭和60年(1985)11月30日

審査請求 未請求 (全 頁)

⑮ 考案の名称 ストップウォッチ付き聴診器

⑯ 実 願 昭59-68633

⑰ 出 願 昭59(1984)5月10日

⑱ 考 案 者 白 木 春 彦 鈴鹿市高塚町1451-590

⑲ 出 願 人 白 木 春 彦 鈴鹿市高塚町1451-590

明 細 書

1. 考案の名称

ストップウォッチ付き聴診器

2. 実用新案登録請求の範囲

聴診器にストップウォッチ(3)をつけ、どこからでも見やすくするため回転軸(4)をつけたものの、心音、脈拍の遅、速を耳で聞き目で見ながら検査出来る聴診器。

3. 考案の詳細な説明

病院に行くと時、医者はず聴診器で心音を聞き、内臓のリズム、脈拍を調べます。これは病気の発見の基本です。新生児で1分間平均130、小児(5-6才)で平均100、成人では平均70、脈拍によりその頻度、大小、遅速、リズム、緊張などから心臓、血管の働きが推測できます。脈拍を手で押えながら時計を見ていてもなかなか遅い、速い、かわかりにくいものです。

(1)

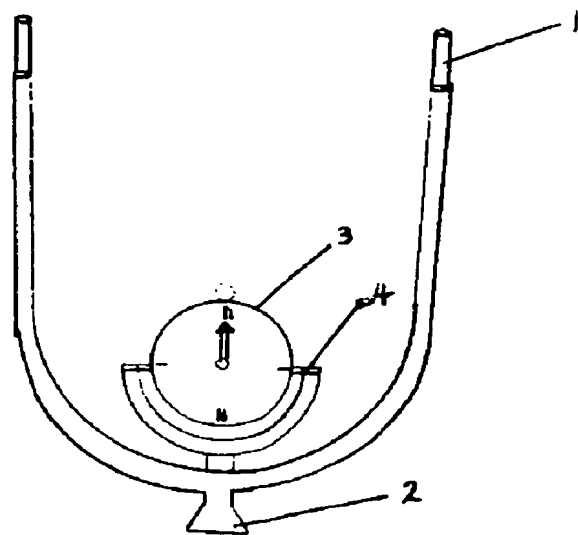
この考案のストップウォッチ付き聴診器は、
脈拍の遅速を耳で直接聞きながらストップウォ
ッチを目で見ながら検査出来ます。ですから自分
自身やオムレやベラなど小児や言語障害の子供
達を家庭で素人でも病気の早期発見と健康維持
検査出来る事が特徴です。

4. 図面の簡単な説明

(1)耳に差し込み部分 (2)体に当てる部分 (3)
ストップウォッチ (4)回転軸

実用新案登録出願人 白 木 春 彦

圖面



白木春考 人願出録案新用

123

実開60-180408

手続補正書（方式）

昭和60年1月23日

特許庁長官 殿



1. 事件の表示 実願昭59-68633号
2. 考案の名称 ストップウォッチ付き聴診器
3. 補正をする者

事件との関係 出願人

住 所 三重県鈴鹿市高塚町1451-590

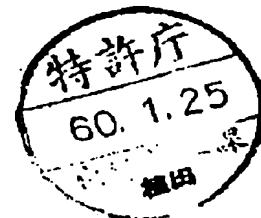
氏 名 ^{シラ}白 ^キ木 ^{ハル}春 ^{ヒコ}彦

4. 補正命令の日付 昭和59年12月25日
5. 補正の対象

明細書の図面の簡単な説明の欄。

6. 補正の内容

明細書第2ページの7行目「4. 図面の簡単な説明」の次に「図面はこの考案の平面図である」の文字を挿入する。



方式
審査

